

宗像大社所蔵「川添昭二先生寄贈資料」の紹介

河窪 奈津子

はじめに

本稿は、九州大学名誉教授、九州大学退官後は福岡大学で教鞭をとられた、川添昭二先生が研究用に蒐集された資料を紹介するものである（以下これを、「川添資料」と略記）。川添資料は、平成二十五年十月に、先生から宗像大社が寄贈を受けて、大社神宝館において保管、河窪が目録の作成は行ったものの、社外に広くお知らせすることができないまま現在に至った。宗像大社史の研究は、宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を目指すうえにおいても、登録後の継続的な研究活動においても、根幹となるものであることは自明であり、「川添資料」がこの研究に資するものであることへの理解に基づき、この場での紹介を快諾いただいた関係機関にあらがたい旨の謝意を表明して、まずは、川添先生と宗像大社との関わりから筆を起こそう。

一・川添先生と宗像大社、『宗像大社文書』編纂・刊行へ

川添先生ご自身は九州地域史の研究者を標榜される（九州地域史―自

己確認のよろこび―）、『解題・序跋集』所収、平成九年、權歌書房）。事実、九州の歴史―政治・文化・宗教・芸能等、時代を問わず全ての分野の研究を志す者で、先生の学恩に与らない人はいない。『宗像神社史』の編纂委員長であり、第一次沖ノ島遺跡調査団長であった小島鉦作先生は、まだ若き日の先生の資質と学識を認めて、『宗像神社史』原稿の校正を依頼された。さらに、神社史編纂後に企画されていた、古文書編纂・刊行事業においては、先生に編纂と執筆を委ねる意思を固められていた。

宗像大社の由緒を客観的・学問的に明らかにすべく始められた神社史編纂、その過程で祭祀遺跡の存在が明らかとなり、学術調査が必要となった沖ノ島の三次にわたる調査、報告書の刊行と次々と成果が公にされ、最後の大事業が『宗像大社文書』の編纂・刊行であった。先生は、昭和五十九年に発足した宗像大社文書編纂刊行委員会の委員長として、平成二十七年に全四巻で刊行を終えるまで、執筆・編纂に尽力され続けた。

その間、平成二十四年には、福岡大学新中央図書館に膨大な蔵書類を寄贈されたのであるが、『宗像大社文書』第四巻に収録する「阿弥陀経石」と「宗像第一宮本殿造営置札」に関する資料類だけは手許に残して、執筆を続けられた。脱稿・入稿後の校正実務は河窪が担うことになり、その便宜を図

るためにとの御厚情によって、これらの資料は福岡大学ではなく宗像大社に寄贈されることになったのである。



宗像大社における保管状況

二. 資料の概要

前述したように、「川添資料」は福岡大学新中央図書館に寄贈され、現在は「川添昭二文庫」として公開・活用されている蔵書類と一連のものである。「川添昭二文庫」は、①書籍・学術雑誌、②研究用の諸資料、③図書カードからなるものであるが、宗像大社が所蔵する「川添資料」は、これらの②研究用の諸資料にあたる。福岡大学人文学部教授森茂暁先生

「川添昭二文庫」の概要」（福岡大学中央図書館 図書館報「一二三号」で説明されている、「研究のための諸資料を市販のケースファイルに収納した「研究用ファイル」四千冊と一連のものである。この資料の利用に際しての留意点が次のように示されており、「川添資料」においても同様であるのでここに引用しよう。

ファイル各冊の中身が一枚ものですから、脱落させたり順番を狂わせたりしないことが大事です。抜き取ることなどもつてのほかです。こうした資料は完全形であることが身上ですので、一枚でも決して欠失させないよう特段のご配慮をお願いします。

「川添資料」の価値はその内容の学問的価値にとどまらず、「研究」という作業の手本であるところにもある。研究者たるものは、手間を惜しむことなく一つの事柄に隅々まで目配り、気配りをして史実に一歩ずつ近づいていくべきであり、研究には終わりが無いことを具体的に、確実に教えてくれる。

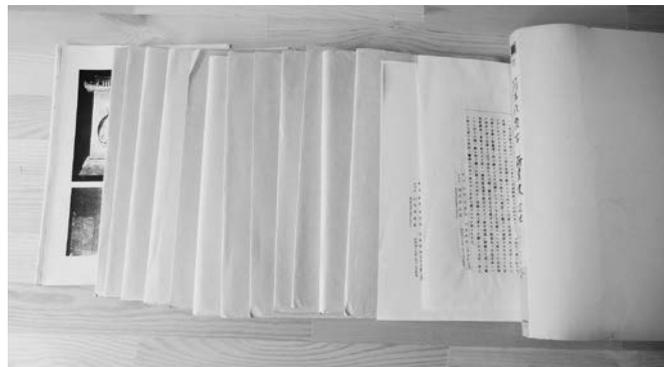
本稿の主眼である「川添資料目録」は拙文に続いて掲載するが、この目録を一つ一つ確認するだけで、どのような史料・資料を蒐集しなければならぬのかが示されていることがわかる。

資料としての活用と共に、インターネットを駆使する若い研究者にも、緻密な「研究」の方法の手本としてもらいたい。

次に、川添資料の内容を、一つのファイルを用いて具体的に示してみよう。



ファイルの中身



写真は、阿彌陀經石関係ファイルのうち、「阿彌陀經石研究史 近世石経記・種信は別」と題されたものの中身である。コピー二紙、茶封筒十二部、コピー一部が入っている。

目録と参照するとわかるが、コピー二紙は、「宗像軍記」の阿彌陀經石に関する記述部分のコピー、茶封筒十二部には各々、以下のタイトルが付

けられている。「近世資料に見える阿彌陀經碑」・「近世・近代地誌に見える阿彌陀經碑」・「阿彌陀經石碑関係 探索資料」・「伴高蹊「閑田耕筆」」・「伴高蹊「比古婆衣」」・「市河寛齋」・「山川正亘 宗像神社阿彌陀經碑考」・「阿彌陀經碑」名称のはじまりは山川か」・「山崎美成」・「屋代弘賢」・「亀井昭陽」・「古賀精理」・「神沢杜口 翁草」であり、中には、関係資料やカードが入っている。最後のコピーは、多田隈豊秋『九州の石塔』上巻（西日本文化協会、昭和五十年八月）の中の、関係個所のコピーである。茶封筒の中には、コピー一紙や図書カードなどが入っており、森先生が注意喚起されたように、「一枚でも決して欠失させないよう特段のご配慮」が必要なのである。

三．利用案内

広くお知らせすることで、多くの研究者・研究者を志す方々に利用して頂きたいと考えており、閲覧希望については可能な限り承るが、宗像大社側の体制が残念ながら十分ではない。担当学芸員が常駐していないため、希望内容を明記して封書で「宗像大社文化財管理局」宛に申し込んで頂きたい。

今後、「神宿る島」宗像沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を経て、保存・研究の体制を整える中で、より良いかたちでの公開ができるように努めたいと考えている。

川添昭二先生寄贈資料ファイル目録 (五十三冊)

阿弥陀経石関係

<p>阿弥陀経石関係文献目録 宗像大社所蔵「阿弥陀経石」研究年表稿</p>	<p>昭和二十五年官報 旧国宝阿弥陀経石を重文指定 文化十四年深田千貫「石碑・色定伝記」 文政三年嶺氏誠「宗像宮境内石経記」書写 檜垣文庫目録 九大所蔵「宗像阿弥陀経石銘考」 筑前国統風土記附録 宗像宮 阿弥陀経石研究年表原稿 阿弥陀経石文献目録原稿 阿弥陀経石研究年表用カード 「神社史」上巻 阿弥陀堂</p>
<p>京大本 宗像石経銘考 青柳種信 宗像大社所蔵 青柳種信 田嶋石経記写真 青柳種信写本 熱田寛平縁起・京都御料郡村名寄 (奥書) 田嶋石経記 宗像郡誌 青柳種信 阿弥陀経石銘考 宗像郡誌 珍書文庫百家叢説 青柳種信 福岡県百科辞典・国書人名辞典 義山 国書人名辞典 京都大学所蔵 宗像石経銘考 福岡市博蔵 青柳種信資料 正平年中行事写本</p>	<p>宗像第一宮御造栄記録抄 安政五年宝庫棟札写 阿弥陀経石宝庫建設 宗像大社宮繕書類阿弥陀経石関係 明治十四・十八・三十八年 寛延二年田嶋宮軒附帳 宗像家文書中の一切経・経石関係史料目録 渡来伝説関係 平家物語・源平盛衰記・宗像軍記・統風土記 森克己『日宋文化交流の諸問題』・原田大六『阿弥陀仏 経碑の謎』 宗像神社略記 石碑・色定伝説</p>
<p>阿弥陀経石研究史 近世 宗像千貫石碑・色定併記 昭和三十一年 重要文化財経石修理事業 宗像神社 社務日誌 昭和三十二年五月 原田大六拓本 黒田新統家譜 卷四田嶋社造営・卷四十一田嶋の石経</p>	<p>阿弥陀経石研究史 近世 石経記・種信は別 「宗像軍記」(『宗像郡誌』) 近世資料に見える阿弥陀経碑 〔袋〕 宗像軍記カード・「統群書類従二十三輯」 「黒田新統家譜四十一 斉隆記」 「筑紫道草」(宗像神社) (近世紀行集成) 金沢文庫図録「称名寺の新発見資料」 「箕作阮甫征西紀行」(大日本古文書)・国司大辞典 箕作阮甫項 「三川相近風韻」 弥陀経石研銘 近世・近代地誌に見える阿弥陀経碑 〔袋〕 安見有定「筑陽記」 筑前国統風土記 筑前国統風土記附録 筑前国統風土記拾遺</p>

大宰管内志
 筑前名所図会
 福岡県地理全誌
 阿弥陀経石碑関係 探索資料 袋
 日本金石文綱要
 都名所図会 カード
 山崎美成「阿弥陀経石本考」カード
 国書惣目録「む」項
 伴高蹊「閑田耕筆」 袋
 国書人名辞典
 日本随筆大成
 「閑田耕筆」
 伴高蹊「比古婆衣」 袋
 国書人名辞典
 日本古典文学大辞典「比古婆衣」
 林陸朗編集「比古婆衣」
 市河寛斎 袋
 日本古典文学大辞典
 「金石私誌」(書苑二ノ七)
 日本金石文綱要
 国書惣目録「き」項
 山川正宣 宗像神社阿弥陀経碑考、「阿弥陀経石」名称のはじまりは山
 川か 袋
 「宗像神社阿弥陀経碑考」(山川正宣集)
 国書人名辞典
 日本古典文学大辞典
 水田紀久「山川正宣年譜」
 原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」「碑の古名称は石仏経であった」
 国書惣目録「池田叢書」

山崎美成 袋
 国書人名辞典
 屋代弘賢 袋
 「阿弥陀経石本考」幸田成友写本 宮内庁書陵部蔵
 国書人名辞典
 叢書目録
 亀井昭陽 袋
 国書人名辞典
 宗像石経記(金石考証)
 昭陽、『田嶋石経記』に跋を加える、カード・「宗像郡誌」
 「昭陽先生文集初編」十七巻目次
 「亀井昭陽全集」(葦書房) 314頁
 古賀精理 袋
 国書人名辞典
 古賀精理カード
 「筑前宗像阿弥陀経碑墨本跋」(書苑二ノ七)
 新訂黒田家譜五巻
 神沢杜口 翁草 袋
 国書人名辞典
 日本古典文学大辞典
 翁草 百十七 筑前宗像堅石 解題(日本随筆大成 新版三期)
 翁草四
 九州の石塔 宗像神社阿弥陀経石
 阿弥陀経釈文 阿弥陀経決定版・写真レイアウト第五案
 仏像面・両側面拓本、釈文検討資料付き
 仏像面・両側面拓本
 仏像面・両側面拓本、スペア
 阿弥陀経石写真レイアウト第五案(福岡市博封筒入り)

阿弥陀経石資料 裏面アミダ経	宗像大社 経石写真 平成十三年(二〇〇一)、影印本撮影以前の資料 大正新修大藏経阿弥陀経 岩波文庫『阿弥陀経』注 日蓮宗新聞記事 二〇〇二年九月二十日山東省の「摩崖刻経」 阿弥陀経面拓本 行番号付(原田大六『阿弥陀仏経碑の謎』81頁) 経石左側面接写部分写真 『田嶋石経記』(宗像郡誌)・『阿弥陀経石銘考』・ 『宗像市史』史料編Ⅰ 見阿弥陀仏寄進状 『鎌倉遺文』所収阿弥陀経石碑文 西岡虎之助「宗像神社の阿弥陀経石の研究」碑文 原田大六『阿弥陀仏経碑の謎』碑文 『宗像神社史』下巻阿弥陀経石碑文 『宗像神社史』下巻阿弥陀経石碑文に堀本一繁氏加筆 神社史・西岡虎之助・原田大六釈文対比 張氏寄進状・仏面銘文拓本・翻刻 岩波文庫「仏説阿弥陀経」 原田大六『阿弥陀仏経碑の謎』阿弥陀経拓本
広島県竹原市西方寺関係資・史料	西方寺十一面観世音菩薩に、当社阿弥陀経との関連を示す伝承 引接山西方寺史料調査・河窪 平成十五年(普明閣本尊十一面観音立像) 岡本虎一「竹原市の仏像 第一輯」 竹原市文化財のしおり
青柳種信宗像社資料 宗像大社所蔵宗像三社略記	宗像大社所蔵宗像三社略記
宗像三社略記 種信自筆稿本写真	
福岡市博所蔵 正平年中行事種信写本	

阿弥陀経を語る その二つの顔 色井秀謙	色井秀謙『阿弥陀経を語る その二つの顔』昭和六十一年山喜房仏書林 全文
阿弥陀経石 堀本一繁氏資料	
阿弥陀経石影印本レイアウト案	
選択伝弘決疑鈔・阿弥陀経随聞講録	
『浄土宗全書』第七卷 選択伝弘決疑鈔	『選択本願念仏集』とその註疏 解説 香月乗光
『新修大正大藏経』 十四卷 阿弥陀経随聞講録	選択伝弘決疑鈔
梶原景熙『田嶋石経記』	
田嶋石経記 九大国史カード	
田嶋石経記 『宗像郡誌』本	
筑前田嶋村石経記 国会図書館本	
田嶋石経記資料 袋	
年代カード 文化十四年 梶原景熙事蹟・文政三年 嶺氏誠事蹟・ 文政十年 梶原景熙死去	
安部竜平事蹟	
国書惣目録・九大檜垣文庫目録	
山口県文書館 近藤文庫カード	
田嶋石経記 『宗像郡誌』本	
経石計測図	
田嶋石経記附言(興聖寺 色定法師一筆一切経文献集所収)	
阿弥陀仏経碑の謎 33(44頁コピー)	
田嶋石経記 『宗像郡誌』本 銘文部分	
梶原景熙 袋	
梶原景熙 国書人名辞典・福岡県先賢人名辞典・「梶原景熙事蹟」 中嶋利一郎「梶原景熙事蹟」(筑紫史談所収) 三部	

『福岡県碑誌』 梶原景熙墓誌・梶原景範墓誌・梶原柯山墓誌 『二川相近風韻』部分
阿弥陀仏経碑の謎 33～39頁
筑前田嶋村石経記 国会図書館本「与青柳種麻呂」部分 袋
阿弥陀経石解題
阿弥陀経石研究年表稿 補訂用
「宗像大社所蔵」阿弥陀経石について1. 2. 3. (『歴史に生きる日蓮』)
阿弥陀経石解題原稿 袋
阿弥陀経石追刻注解資料
A 夫造像意者 袋
原田拓本
西村拓本
田島石経記 『宗像郡誌』本部分・表面図
原田大六 阿弥陀仏経碑の謎 110～127頁
B 檀那 袋
原田拓本
宗像神社史下巻 864～867頁
田島石経記 『宗像郡誌』本表面図
大漢和辞典 「同」・「縁」・「蔵」項
阿弥陀仏経碑の謎 128～138頁
C 石仏経願 袋
原田拓本
田島石経記 『宗像郡誌』本部分・表面図
阿弥陀仏経碑の謎 140～144頁
D よせたてまつる 袋
中世の海人と東アジア 翻刻
田島石経記 『宗像郡誌』本部分
経石銘考 『宗像郡誌』本部分
宗像神社史下巻 865頁

林文理 翻刻(福岡市博紀要四)
『宗像市史』史料編一 承久二年項
宗像神社史下巻 453～455頁(大宮司)
日国大「永代」項
辛島美絵「仮名文書の形容詞」(九産大国際文学部紀要一二、表題のみ)
川添「おご」原稿
渡辺文吉「宗像神社蔵阿弥陀経石のこと」
阿弥陀仏経碑の謎 146～190頁
E 東股 袋
中世の海人と東アジア 翻刻
原田拓本
経石銘考 『宗像郡誌』本部分
宗像神社史下巻 865～866頁
阿弥陀仏経碑の謎 205～208頁
F 座頭丸 袋
原田拓本
田島石経記 『宗像郡誌』本部分
経石銘考 『宗像郡誌』本部分
宗像神社史附巻 嘉禎三年項
『宗像市史』史料編一 嘉禎三年項
阿弥陀仏経碑の謎 208～212頁
G 如見阿弥陀仏 袋
田島石経記 『宗像郡誌』本部分
経石銘考 『宗像郡誌』本部分
筑前国続風土記拾遺505頁
宗像神社史下巻866頁・附巻 嘉禎三年項
『宗像市史』史料編一 嘉禎三年項
阿弥陀仏経碑の謎 192～204頁

经石論文 〔袋〕

- 長沼賢海「宗像神社の阿弥陀经石」(『日本宗教史の研究』昭和三十一) 十一)
- 西岡虎之助「宗像神社の阿弥陀经石の研究」(『西岡虎之助著作集』3 卷一九八四・三)
- 「国宝阿弥陀经石追銘の寄進状」(福岡県史跡名勝天然記念物調査報告書 昭和八・三)
- 渡辺文吉「宗像神社蔵阿弥陀经石のこと」(『少弐氏と宗氏』6 一九八六・一)
- 井形進「宗像の鎌倉時代の造形遺品」(『九州歴史資料館論集』27 二〇〇二・三)
- 森克己「日宋文化交流の諸問題」(『森克己著作集』4 昭和五十・九)
- 田村圓澄「原田大六著『阿弥陀仏经碑の謎』を読む」(『大宰府の春』一九八七・十)
- 田村圓澄「幸阿弥陀仏の鎮西下向」(むなかたの自然・歴史・文化 46 一九八七・八)
- 副島三喜男「宗像神社阿弥陀经石」(『佛教藝術』3 一九五七・一)
- 原田大六「阿弥陀仏经碑の謎」部分
- 正木喜三郎「宗像中世史の問題点3」(むなかたの自然・歴史・文化 3 一九八〇・十一)
- 正木喜三郎「船頭妙典について」(ふるさとの自然と歴史 245 一九九四・七)
- 対外関係史総合年表 一一九五(建久六年)
- 伝記、拓本作り 〔袋〕
- 筑前宗像神社阿弥陀经碑裏面经文(『大日本金石史』昭和四七・十一)
- 平家物語 灯籠之沙汰・金渡(古典文学大系)
- 源平盛衰記(早稲田大学 通俗日本前史 3 一九二二・十一)
- 源平盛衰記(校注日本文学大系 昭和七・五)

拙庵徳光卜関解説(毎日新聞社 新指定重要文化財 8 昭和五八・十二)

正木喜三郎「平家伝説の分類」(吉川弘文館『東アジアと日本一九八七・十二』)

大宰府天満宮所蔵書画目録 阿弥陀经石墨拓

静永健「阿弥陀经石の航路」(『から船往来』二〇〇九・六)

大宮司系譜 〔袋〕

宗像神社史 大宮司の職掌とその補任・社領経済、土穴村・稲本村・須恵村

阿弥陀经石研究 論文 A4

考古界一〇四号目次

江藤正澄「筑前国宗像郡田島石经并色定法師一筆一切经記 明治三四」

幸田成友「筑前阿弥陀经碑」(集古会誌 明治四十)

堀謙徳「碑文より見たる山東の仏教」(東洋学報 713 大正六)

長沼賢海「宗像神社の阿弥陀经石」(日本宗教史の研究 大正十一)

西岡虎之助「宗像神社の阿弥陀经石の研究」(歴史地理 4613・4 大正十四)

正十四)

禿氏祐祥「宗像神社の阿弥陀经石」(仏教史学 212 昭和二六)

小川貫弑「宋代浄土教文化の影響」(昭和四八)

景山春樹「宗像と京の阿弥陀经石」(昭和四九)

森克己「日宋文化交流の諸問題」(日宋貿易における中国商人の性格)

静永健「阿弥陀经石の航路」(平成二一)

宗像神社史附巻建久六年 追加項目書込み

川添昭二「福岡県宗像大社所蔵『阿弥陀经石』について」〔袋〕

抜刷9部在中

阿弥陀经石 概説 伝来妙典・写真・拓本作り 寸法 釈文解

題原稿

藤沢典彦編「石造物の研究」目次パンフ

正木「宗像中世史の問題点3」カードコピー

「巨大石経拓本 宇宙を感じて」朝日新聞二〇〇七・六・一夕刊
渡辺誠「輛の浦の伝承と信仰」

概説 **袋**

貝原益軒 カードコピー 続風土記編纂(二十一文字)

田島石経記 郡誌164頁(石質)

経石木彫カード 明治廿二年彫刻

宗像神社史索引・上巻450頁(阿弥陀経堂)

阿弥陀経石銘文(中世の海人と東アジア)

敷石銘文

長沼賢海「日本の海賊」52～55頁

森克己「入宋文化交流の諸問題」178～181頁

西岡虎之助「宗像神社の阿弥陀経石の研究」・経石銘文

多田隈豊秋「九州の石塔」鎮国寺阿弥陀如来碑・宗像神社阿弥陀経

石 3部

川添昭二 九州の石塔 推薦文

川添昭二「宗像社・宗像氏と阿弥陀経石」

坪井良平「九州石造美術の特異なる手法について」

経石紹介文2点

経石紹介新聞記事2枚

福岡県百科事典 経石項5枚

井形進「宗像興聖寺の色定法師坐像」91～95頁

渡辺誠「平安時代貿易管理制度史の研究」303・330頁

河窪への依頼3件

経石撮影経過報告・田島石経記国会図書館本入手・経石修理関係

資料

経石概要 **袋**

国書惣目録 田島石経記項3部

阿弥陀経石関係文献目録・カードコピー

宗像神社史 下巻阿弥陀経石項2部・上巻450・469・
493頁(経堂)

『宗像市史』通史編 第三節阿弥陀経石

経石移入(造立)の目的(理由) **袋**

森克己「日宋貿易の研究」190・191頁

原田「阿弥陀仏経碑の謎」166・167頁

経石寸法 **袋**

田島石経記見取図 国会図書館本・宗像郡誌

原田「阿弥陀仏経碑の謎」寸法表3部

河窪採寸図

井形進「宗像興聖寺の色定法師坐像」91頁

敷石銘文

积文各種 **袋**

鎌倉遺文所収 碑文

川添手書銘文原稿

銘文印刷物部

阿弥陀経 概説 积文(岩波文庫本・正蔵)

阿弥陀経 本文・読下し **袋**

阿弥陀経本文 岩波文庫本

阿弥陀経旧訳 読下し文3部

阿弥陀経改訳 読下し文2部

宗像「阿弥陀経」文略説 **袋**

仏説阿弥陀経 岩波文庫

岩波仏教辞典 阿弥陀経・浄土三部経項

禿氏祐祥「宗像神社の阿弥陀経石」1枚

原田「阿弥陀仏経碑の謎」80～93頁

村瀬秀雄「和訳浄土三部経」阿弥陀経

石田充之「親鸞教学の基礎的研究」328頁

アミダ経注解 控 **袋**

<p>阿弥陀経釈文原稿3部 阿弥陀経読下し文原稿2部 阿弥陀経翻刻原稿 阿弥陀経注解手書き原稿 アミダ経釈文(掲載用) [袋] 岩波文庫本 阿弥陀経釈文・読下し一覽 大正経阿弥陀経 改行チェック 大正経阿弥陀経2部 阿弥陀経釈文(河窪制作) 河窪釈文コピー3部</p>	<p>阿弥陀経 釈文・読下し・浄土呪・二十一文字多い件</p>
<p>往生浄土呪 資料 [袋] 田島石経記 背面往生浄土呪(郡誌下編165頁) 市河寛斎 金石私誌 長沼賢海「経石に見ゆる往生浄土呪」(宗像神社の阿弥陀経石915 〜918頁 2部) 西岡虎之助「宗像神社の阿弥陀経石の研究」366〜368頁 3部・ 銘文釈文 坂内龍雄「真言陀羅尼」せ阿弥陀如来陀羅尼 3部・陀羅尼不空訳 文言 木村俊彦・竹中智泰「禅宗の陀羅尼」阿弥陀如来大呪 「施餓鬼のダラニ」 大正新修大蔵経 無量寿仏 説往生浄土呪 原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」三願文73〜75頁・往生浄土呪90 〜93頁 4部 仏教大辞典 シンゴン・ダラニ・オウ ニッキユウ 仏書解説大辞典 浄土文 禅学大辞典 陀羅尼品・甘露・上声 岩波仏教辞典 真言・陀羅尼、日国大 陀羅尼</p>	

<p>中村元「仏典Ⅱ」阿弥陀経・大無量寿経・ダラニ集2部 襄陽石刻阿弥陀経・二十一文字多い件 [袋] 一括綴り 「阿弥陀経漢訳・昭和重修法然上人全集 選択本願念仏集・岩波文庫 選択本願念仏集 日本思想体系 選択本願念仏集・現代語訳選択集・教行信証 親鸞聖人全集 西方指南抄・生桑完明「西方指南抄」について」 阿弥陀経漢訳注 岩波文庫本 仏書解説大辞典 浄土文 神沢杜口「翁草」(日本随筆大成) 筑前国統風土記卷十七 田島・吉田村 筑前国統風土記拾遺卷三十六 弥陀経石仏 太宰管内志 弥陀経石 長沼「宗像神社の阿弥陀経石」経石の阿弥陀経に多き二十一文字 西岡「宗像神社の阿弥陀経石の研究」2経石の系統・4経石の伝来 と時代の信仰 禿氏「宗像神社の阿弥陀経石」 色井「阿弥陀経を語る」襄陽石刻阿弥陀経・中国仏教史辞典 雲棲 寺項・石刻文の評価 小川「仏教文化史研究」宋代浄土教文化の影響 原田「阿弥陀仏経碑の謎」阿弥陀経に多い二十一文字・臨安に建て られた襄陽碑 川添「付論 鎌倉浄土教の展開における対外的契機」</p>	<p>阿弥陀経 和訳 訳注用資料</p>
<p>中村元「極楽浄土を欣求する―阿弥陀経」 岩波文庫「阿弥陀経梵文和訳 註」 村瀬秀雄訳「和訳浄土三部経」 桜部建訳「阿弥陀経」 早島鏡正・田中教照編「座右版 お経 浄土真宗」</p>	

<p>干潟龍祥「阿弥陀経の炎肩仏について」 提出用阿弥陀経石 解題原稿在中 本文と注解(追刻本文と注解は別冊) 研究年表・文献目録</p>	<p>川添「福岡県宗像大社所蔵「阿弥陀経石」について」3部 付、日蓮教学研究所原稿依頼・送付一件 正木喜三郎「宗像の歴史と伝承」470～473頁 桐谷征一「中国における法華経の石刻」(『日蓮教学の諸問題』) 研究年表・文献目録 〔袋〕 研究年表稿 研究年表稿 増補 文献目録</p>
<p>阿弥陀経石 系図 仏像 修理事業 講義用資料 宗像大社文書一卷 一 二官宣旨案・二 九西園寺実氏政所下文・四三預 所橋知嗣下文 四四預所橋知嗣袖判下文・五九問注所執事・奉行 人連署問状案 六〇沙弥浄恵請文案・九〇室町幕府安堵方頭人奉書 阿弥陀仏経碑の謎 107～109頁 小杉文庫目録 筑前国宗像郡阿弥陀経碑拓本 系図 〔袋〕 阿弥陀経石に関係の宗像氏と武藤氏系図(渡辺文吉 少弐氏と宗氏6) 大宮司系図(宗像神社史下巻454頁) 大宮司と在地領主の継承系図(原田大六 阿弥陀仏経碑の謎 133頁) 宗像系図(宗像郡誌 中編) 訂正宗像大宮司系譜(宗像郡誌 中編) 阿弥陀仏経碑の謎6・13図(阿弥陀仏圖) 仏像 本尊の阿弥陀仏 〔袋〕 阿弥陀経石採寸図 九州の石塔36～38頁</p>	

<p>長沼賢海「宗像神社の阿弥陀経石」918頁 阿弥陀仏経碑の謎 64～69頁 修理事業 〔袋〕 修理に至る経過川添メモ 「昭和三二年 重要文化財経石修理事業」抜粋 経石講義用 〔袋〕 宗像氏の対外貿易と志賀島の海人285～291頁(2部) 沙弥浄恵請文案(『宗像市史』) 釈文・大社文書読下し文・注解・大意 宗像神社史下巻454、455頁 阿弥陀仏経碑の謎 拓本写真集</p>	<p>無量寿経 三願文 立正安国論と第十八願 六字名号 市川浩史「親鸞における曇鸞と善導」 三願文資料 〔袋〕 第四卷ゲラ三願文 校正用 原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」より図版集合、三願文翻刻 選択本願念仏集 第十八願読下し文 三願文釈文 岩波文庫本 大無量寿経三願文釈文・読下し文・註 村瀬秀雄訳「和訳浄土三部経」第十八・十九・二十願 2部 長沼賢海「宗像神社の阿弥陀経石」912～915頁 第十八願 西岡虎之助「宗像神社の阿弥陀経石の研究」364～367頁 禿氏祐祥「宗像神社の阿弥陀経碑」141～145頁「仏教史学」 表紙・奥付 原田「阿弥陀仏経碑の謎」74～75頁 無量寿経 第十八願 〔袋〕 第十八願釈文 岩波文庫本大無量寿経 註 選択本願念仏集 第十八願 親鸞 教行信証 130～136頁</p>
--	---

<p>日蓮 立正安国論</p> <p>日本の仏典9 立正安国論</p> <p>日蓮上人全集 立正安国論</p> <p>関戸堯海 「立正安国論」入門</p> <p>北川前肇 「原文対訳 立正安国論」</p> <p>北尾日大 立正安国論講義</p> <p>清水龍山 立正安国論講義</p> <p>六字の名号 〔袋〕</p> <p>岩波 仏教辞典「六字」項</p> <p>禿氏祐祥 「宗像神社の阿弥陀経碑」 141～145頁 「仏教史学」 表紙・奥付</p> <p>原田大六 「阿弥陀仏経碑の謎」70～75頁</p> <p>拓本コピー 西村強三氏採拓 小杉文庫拓本写真</p> <p>小杉文庫・徴古 抄は別冊</p> <p>拓本コピー(原田氏分) 〔袋〕</p> <p>原田大六 「阿弥陀仏経碑の謎」所載拓本</p> <p>西村強三氏採拓 〔袋〕</p> <p>西村氏採拓コピー</p> <p>拓本制作準備作業記録</p> <p>堀本一繁氏神社史積文加筆2部</p> <p>阿弥陀経石撮影時写真 〔袋〕</p> <p>小杉文庫拓本写真 〔袋〕</p> <p>小杉文庫阿弥陀経石拓本写真</p> <p>小杉文庫拓本写真入手続き一件</p> <p>小杉文庫拓本写真所蔵静岡県立美術館図録コピー</p> <p>太宰府天満宮所蔵書画目録 阿弥陀経石墨拓</p> <p>拓本コピー(追刻文) 〔袋〕</p> <p>右側面拓本コピー2部</p> <p>左側面拓本コピー2部</p>

<p>西日本新聞 阿弥陀仏経碑と宗像 原田大六</p> <p>「阿弥陀仏経碑と宗像」スクラップ 12回～60回</p> <p>原田大六著 『阿弥陀仏経碑の謎』一冊</p> <p>「阿弥陀仏経碑の謎」一冊</p> <p>原田氏夫人計報スクラップ(西日本新聞 二〇一三・三・十四)</p> <p>宗像大社阿弥陀経碑 拓本の歴史</p> <p>禿氏祐祥 「宗像神社の阿弥陀経碑」智恩寺摸刻拓本箇所</p> <p>市河寛斎 「筑前宗像阿弥陀経碑」</p> <p>伴蒿蹊 「閑田耕筆」(日本随筆大成)</p> <p>黒田斉隆 拓本一件(新訂黒田家譜)</p> <p>林英存 「筑紫道草」</p> <p>「称名寺の新発見資料」阿弥陀経拓本断簡</p> <p>『宗像郡誌』下163頁 富永郡次郎修理の件</p> <p>古賀精里採拓一件</p> <p>筑前国統風土記拾遺</p> <p>田島石経記</p> <p>筑前名所図会2部</p> <p>古田紹欽「仙厓」</p> <p>福岡市美術館叢書2「仙厓」</p> <p>出光美術館「仙厓さんと九州名所めぐり」</p> <p>箕作阮甫 経石拓本入手一件</p> <p>太宰府天満宮所蔵 江藤正澄拓本一件</p> <p>阿弥陀経随聞講録 義山我が日行業記</p> <p>良照義山 〔袋〕</p> <p>宝永二年 良照義山跋</p> <p>青柳種信写 義山跋「阿弥陀経石記跋」映像・国書人名辞典「義山」項</p> <p>洛東華頂義山和尚行業記并要解・解題・奥付(浄土宗全書十四)</p>
--

<p>阿弥陀経石摸刻 百万遍智恩寺・小松寺正林寺 写真</p> <p>百万遍智恩寺・小松谷正林寺摸刻写真(重住氏より)</p> <p>経石採拓写真</p>	<p>阿弥陀経石摸刻 智恩寺・正林寺資料</p>	<p>阿弥陀経石摸刻 知恩寺 袋</p> <p>日本歴史地名大系27京都市の地名「知恩寺」項</p> <p>都名所図会上巻「長徳山知恩寺百万遍」項</p> <p>百万遍知恩寺パンフレット</p> <p>原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」知恩寺摸刻箇所</p> <p>色井秀讓「阿弥陀経を語る」知恩寺摸刻箇所</p> <p>宗像軍記 宋朝ヨリ石仏ヲ渡スコト</p> <p>浄土宗全書20 百万遍知恩寺誌要</p> <p>長沼賢海「宗像神社の阿弥陀経」知恩寺摸刻箇所</p> <p>景山春樹「宗像と京の阿弥陀経石」127～135頁、奥付</p> <p>大日本仏教全書 長徳山知恩寺歴史略</p> <p>東大寺史 道愨僧正項</p> <p>仏教大辞典4「天徳寺」項</p> <p>阿弥陀経石摸刻 京都正林寺 袋</p> <p>正林寺パンフ「小松谷御坊略縁起」</p> <p>都名所図会上巻「小松谷正林寺」項</p> <p>原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」小松谷正林寺摸刻箇所</p> <p>色井秀讓「阿弥陀経を語る」正林寺摸刻箇所</p> <p>小松谷正林寺摸刻写真</p> <p>宗像家文書六三池田監物書状(大社文書二巻)</p> <p>日本歴史地名大系27京都市の地名「正林寺」「小松谷」項</p> <p>平家物語研究辞典「小松家」項</p> <p>水原一「小松寺の記」</p> <p>景山春樹「宗像と京の阿弥陀経石」127～135頁、奥付</p>
---	--------------------------	--

<p>阿弥陀経石敷石資料</p> <p>台座銘文資料 袋</p> <p>銘文</p> <p>宗像神社史</p> <p>銘文関係問合せ</p> <p>敷石銘 京釜座舛屋町、日野屋吉右衛門 袋</p> <p>宗像神社史附巻 正徳五年項</p> <p>釜座日野屋資料(地域史研究所提供)</p> <p>『新修京都叢書』凡例</p> <p>京都御役所向大概覚書(福岡市博物館提供)</p> <p>京都筑前黒田屋敷地図</p> <p>日本歴史地名大系27京都市の地名「舛屋町」「釜座」項</p> <p>敷石銘 大坂内平野町 日野屋善右衛門 袋</p> <p>敷石銘</p> <p>宮本又次「黒田藩と大坂との関係史料紹介」カード</p> <p>福田千鶴「福岡藩政前記の京都・大坂蔵屋敷及び算用所関係史料の紹介」カード</p> <p>武光誠「大坂商人」60頁</p> <p>松本四郎「日本近世都市論」166～169頁</p> <p>角川地名大辞典27大阪府「平野」項</p> <p>大阪市史</p> <p>大阪編年史</p> <p>日本歴史地名大系28大阪府の地名「平野」項</p> <p>敷石銘 楽蓮社信譽浄西 袋</p> <p>敷石銘</p> <p>江戸 回向院</p> <p>平塚市万田 大泉寺</p>	<p>王氏・張氏 鎌倉時代の国際結婚 袋</p> <p>王氏・張氏宗人説・否定説、関連史料 袋</p>
---	---

長沼賢海「日本海事史研究」306～349頁、宋人説否定
 森克己「日宋貿易の研究」252～255頁、宋人説
 宗像神社史下巻454～455頁、宋人説
 原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」187～188頁、宋人説
 角川日本地名辞典40福岡県「須恵村」項
 森克己「日宋貿易の研究」宋人説、長沼説への反批判
 王氏・張氏 〔袋〕
 長沼賢海「日本海事史研究」340～341頁、宋人説否定
 森克己「日宋貿易の研究」宋人説
 宗像神社史下巻 鎌倉時代における大宮司
 大社文書二巻 長氏注進状案二関東下知状案
 門田見啓子「大宰府の府老について」12～15頁、王氏
 博多遺跡群第28次発掘調査報告書博多Ⅶ 中世の遺物 王銘陶器
 原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」張氏女寄進地の宗像社受領書192
 ～204頁
 三願文注解校正
 阿弥陀経石移入の見解メモ
 宗像市史 経石渡来説話／近世地誌／経石左右側面追刻銘／宗像氏
 国／
 宗像氏経／
 宗像氏仲・氏忠／張氏女―覚然・氏重後家相論／藤原頼俊
 張氏寄進状 〔袋〕
 原田大六「阿弥陀仏経碑の謎」146～147頁
 宗像市史259頁
 田島石経記（『宗像郡誌』）
 鎌倉時代の国際結婚（平成十四年五月廿二日飯塚市歴史資料館婦人サー
 クル）〔袋〕
 レジユメプロット
 レジユメ原稿

婚姻 辞書項目
 国際結婚の身近な例（ライシャワー・ハル）
 国際結婚の事例 中世
 国際結婚の事例 近代
 宗像中世史 正木（経石関係あり）
 正木喜三郎 平家伝説（『古代・中世宗像の歴史と伝承』第六章）
 末吉武史 宗像市・承福寺の建武年銘如意輪観音像（『福岡市博研究紀
 要21』）
 河窪奈津子 『宗像記追考』が語る宗像戦国史の虚実（『福岡地域史研究』
 24）
 宗像大社宋風獅子
 宋風獅子 一般 朽津・宗像 井形・首羅山 井形 〔袋〕
 朽津信明 いわゆる「宋風獅子」の岩質について
 井形進 宗像大社の宋風獅子とその周辺
 井形進 首羅山遺跡の宋風獅子と薩摩塔
 梅園石 薩摩塔 宗像社経石、桃崎氏寄贈
 河窪書簡 阿弥陀経石石質調査報告
 井形進 宗像大社の宋風獅子とその周辺 カードコピー
 桃崎祐輔他 九州発見中国製石塔の基礎的研究
 井形進 福岡県久山町の個人蔵の古仏
 江上智恵 首羅山遺跡とその周辺
 佐伯弘次 博多と寧波（日本の対外関係3 『通交・通商権の拡大』）〔袋〕
 東アジア海域叢書6：10目次
 薩摩塔 詳しくはその項ファイルに 〔袋〕
 井形進 薩摩塔研究概観（古文化談叢65集）
 桃崎祐輔 北部九州の石造物と宗教―対外交渉と宗派的な特質に着
 目して
 梅園石 薩摩塔
 南日本文化財研究 No.7

松田朝由 鹿兒島県の薩摩塔

高津孝・橋口亘 薩摩塔小考

山川均 『中世石造物の研究』 26～31頁

井形進 薩摩塔研究概観(古文化談叢65集)

久山町教育委員会 首羅山遺跡 49～83頁

桃崎祐輔 北部九州の石造物と宗教―対外交渉と宗派的な特質に着目して

桃崎祐輔他 九州発見中国製石塔の基礎的研究66・98頁

九州山岳霊場遺跡研究会 北部九州の山岳霊場遺跡

江上智恵 首羅山遺跡

井形進 福岡平野周辺の山の仏像―首羅山の場合を中心に

阿弥陀経石注釈用 個別参考資料

石仏経願殊者 〔袋〕

田島石経記 郡誌160～165頁

如見阿弥陀仏申文 〔袋〕

原田「阿弥陀仏経碑の謎」203頁

東股給田「座頭丸」〔袋〕

青柳種信「阿弥陀経石銘考」郡誌168～173頁

三十七冊

第一宮本殿造営置札関係

置札資料 水藤真・川添論文

置札写真 〔袋〕

福山敏男「棟札考」(『寺院建築の研究下』)

氏貞 天正六年置札 博多史料としての置札・十六世紀の博多(職人)

史料 〔袋〕

佐伯弘次・「中世後期の博多と大内氏」6～7頁(『史淵』121)

「天正六年宗像宮造営置札から見た十六世紀の博多」レ

ジュメ

京衆船・「宗像市史」中世II 496

造営置札記述箇所(神社史)

『宗像大社文書』二卷24・25号聖護院道増書状

博多津廻船・「宗像市史」中世II 580

造営置札記述箇所(神社史)

桑田和明 『中世筑前国宗像氏と宗像社』 453頁

漂倒船・「宗像市史」中世II 565

寄進置札記述箇所(神社史)

唐人・棟上置札記述箇所(神社史)

番匠日高・造営・棟上置札記述箇所(神社史)

『宗像軍記』氏貞三社建立ノ事(『史籍集覧』)

『宮崎宮史料』日高家文書目次

杉山博 『後北条氏の研究』「職人の掌握」

材木・造営・棟上置札記述箇所(神社史)

『筑前国続風土記』土産考 材木

京仏師・「宗像市史」中世II 468

博多瓦工・「長防風土記」高隆寺本堂上棟式

蛤粉・「石城史」『筑前国続風土記』

釘・棟上置札記述箇所(神社史)

朱・棟上置札記述箇所(神社史)

棟瓦師・絵師・塗師・白壁師・宮崎巧・棟上置札記述箇所(神社史)

島・浦支配 〔封筒〕

置札記述箇所切抜きコピー

水藤真 『棟札の研究』「宗像大社の四枚一組の棟札」2部

伊藤太 「棟札の古文書学」(『日本社会の史的構造』)

川添昭二 「天正六年六月の博多職人史料について」(『中世・近世博多史論』)

国会図書館総合索引 棟札・伊藤延男

置札所見人名索引

宗像氏の職人支配・桑田和明『中世筑前国宗像氏と宗像社』言及箇所 造営遷宮式の奉行・桑田和明『中世筑前国宗像氏と宗像社』言及箇所 正木喜三郎『宗像の歴史と伝承』言及箇所 同氏「戦国時代における宗像氏の家臣構成について」言及箇所	置札の特質 堀本一繁 『宗像市史』通史編二中世第四章「戦国時代の宗像」530頁	置札 資料と研究 宗像大社文書第三卷	宗像メモ 封筒 神社史記事コピー 神道大系 置札解題2部 置札四枚奉行衆 寄進置札釈文注解番号付（神社史） 辺津宮本殿 概説 袋	宗像神社史 下巻492頁 大宮司氏貞項 上巻418～441頁天正度の造営 下巻858～860頁辺津宮本・拝殿	昭和造営誌 238～240頁 辺津宮本拝殿 『重要文化財13建造物Ⅱ』辺津宮本殿 『福岡県史通史編』280～285頁辺津宮・中津宮本・拝殿 『福岡県の建造物』辺津宮本・拝殿・中津宮本殿 『宗像市史』近世669頁	置札 造営史料として 袋 『宗像市史』中世Ⅱ378・468・469 『宗像市史』中世Ⅱ477・『筑前国統風土記拾遺』大嶋・中津宮・御嶽神社 『宗像市史』中世Ⅱ583-3寄進置札 宗像神社史 上巻282頁京都仏師 上巻330～340頁 造営の沿革
---	---	--------------------	---	--	---	---

上巻418～441頁 天正度の造営 上巻442～446頁 天正以降の修復	昭和造営誌 129～141頁 昭和以前の造営の沿革 241～244頁 天正度の造営及び後世修理の概要	新城常三『中世水運史の研究』832～833頁 寄物 桑田和明『中世筑前国宗像氏と宗像社』453頁寄物	置札 飾刀剣 袋 宗像神社所蔵古文書宝器什物目録 太刀 置札 参考資料 神饌（供物） 袋 太宰管内志 宗像郡 宗像神社史 上巻112頁・442頁・445頁・539頁 新撰宗像記考証 八月十日宗像氏貞書状写 津屋崎町史 383～385頁辺津宮本殿の再建 嵯峨井建「神饌としての唐菓子」（『和菓子』虎屋）	置札 政治史料として・伯耆南条氏 袋 『宗像市史』中世Ⅱ 永禄十二年立花城開城、毛利氏九州撤退関係 桑田和明「天正九年、筑前国鞍手郡における合戦とその史料」（『西 南地域史研究九』） 桑田和明「戦国時代における筑前国宗像氏貞の遠賀郡進出と支配」 （『地方史研究278』）	『宗像市史』通史編中世 毛利氏の九州進出 『福岡町史』通史編中世 豊芸和平史料 『宗像市史』中世Ⅱ抜粹 角川地名辞典 東伯郡東郷町・羽衣石城跡 『鳥取県の歴史』南条氏関係 参考資料 建築史関係・棟札研究 袋 大河直躬『ものと人間の文化史・番匠』99～101頁 祝儀の基 準として
---	---	---	---	--	---

福山敏男「棟札考」(『月刊文化財』2912号) 御宝殿置札不明用語 御宝殿置札人名索引4部	天正六年六月朔日 宗像宮造宮置札 所名・人名索引	置札 原文	宗像神社史上巻 収録箇所2部 『宗像市史』中世Ⅱ 収録箇所 『神道大系』宗像 収録箇所 国立歴史民俗博物館『棟札銘文集成』収録箇所 ※近世分も含む 『宗像記追考』収録箇所(『宗像郡誌』中編) 深田千貫御宝殿置札写、宗像神社史下巻 千貫記述部分 倉八隣置札写、倉八隣墓誌 宗像神社史図版コピー	置札銘文集成―中国・四国・九州編―国立歴史民俗博物館 平成五年三月	遷宮置札釘穴資料 三浦正幸「四面庇系平面の神社本殿の研究」 国立歴史民俗博物館『棟札銘文集成』収録箇所 ※近世分も含む 国立歴史民俗博物館『棟札銘文集成』九州地方 宗像氏貞 雑史料(写真)	宮若市円通院、若宮八幡宮、許斐山登山写真(二〇〇三・十・四)	重要文化財宗像神社辺津宮本殿・拝殿修理工事報告書・図版 宗像大社 中津宮本殿保存修理工事報告書・図版 宗像中世史の研究 戦国期―氏貞 置札参考	堀本一繁 『宗像市史』通史編二中世第四章「戦国時代の宗像」抜刷・コピー	桑田和明 『中世筑前国宗像氏と宗像社』置札言及箇所 『宗像大社文書』三卷109頁 注解 宗像鍋寿 『大分県史』中世編Ⅲ「筑前立花城の争奪戦」
---	--------------------------	-------	--	-----------------------------------	--	--------------------------------	---	-------------------------------------	--

福川一徳「元龜―天正年間の大友・毛利氏の戦い」(『軍事史学』2614)
井上宗雄『中世歌壇史の研究室町後期』聖護院道増箇所
本田博之「豊臣期の筑前宗像郡と宗像社」(『安田女子大学紀要24』)
本田博之『宗像市史』通史編二近世第一章「豊臣政権と宗像」抜刷
『宗像大社許斐城物語』置札言及箇所
朝日新聞二〇一一年五月十日記事「中世山城 戦国の息吹」(三日月山城)

八冊

『宗像大社文書』編纂関係
宗像大社文書編纂記録
宗像大社文書編集委員会・会議資料
宗像大社文書編集会議資料
宗像大社第三卷編集会議資料
宗像大社文書第四巻 あとがき用資料

五冊

新聞・社報
宗像関係資料
『宗像』関係新聞資料1 二〇一〇・九・九～二〇一三・十・十四
『宗像』関係新聞資料2 二〇一三・九・十～二〇一三・十・十三
『宗像』

三冊